



西念寺だより 師走号



令和6年12月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-63-2912 FAX 0774-26-9683

一年の締めくくりと新しい年への期待に

「此れをせん 彼をもせんと思えども為し果てぬ間に年は暮れけり」

記録的な猛暑の影響がいつまでも続き、11月に入っても夏日が記録されたり、各地で大雨警報が発令されるなど、温暖化の影響を肌で感じる日々が続いたかと思えば、急に朝夕の気温が下がるなど体調管理に気を遣う今日この頃です。壇信徒各位にはお変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。平素は何かと寺門興隆に御支援御協力を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

早いもので今年も一か月を残すだのみとなりました。歳を重ねるごとに、一年があつという間に過ぎ去っていくように感じられてなりません。

改めて今年の出来事を振り返ってみますと、大谷選手の活躍やパリ五輪で多くのメダルを獲得したり、被団協がノーベル平和賞に輝くなどの明るいニュースが多かった一方、元旦の夕方に能登地方で震度7の地震と津波が襲いかかり、しかもようやく復興の兆しが見えてきたときに今度は豪雨災害に襲われるなど、被害に遭われた方々の気持ちを思うととても心が痛むニュースや、スマートフォンやSNSに起因する事件が数多く起きた年でもありました。いつでもどこでも便利に使える反面、ネット社会の恐ろしさを痛感するとともに、インターネット活用リテラシーの欠如と、根底には現代社会の人と人の繋がりが希薄になってしまったことが起因しているように思えてなりません。

さて家の大掃除と同じように、一年間の罪障、つまり身や心の汚れを洗い流す行事を「仏名会」と言います。当山では大晦日の鐘撞きと並行して行っていますが、自分自身の今年一年を振り返ってみて、後戻りできない日々を本当に大切に過ごしてきたらうかといつも反省させられます。

現世に生かされている人間にとって、一番大切なのは言うまでもなく「時間」です。もう少し突っ込んで言えば「自らに与えられた現世における残された時間」と言えます。その大切な時間を無駄に過ごしてはいなかったらうかといつも考えさせられます。

仏名会で拝読する広懺悔文と言うお経の最初に「無始已来、乃至今身、殺害一切、三宝師僧父母、六親眷属、善知識、法界衆生、不可知数」とあります。「いつとも知れない昔から今日に至るまでの間、ありとあらゆる人々や生きとし生けるものを心の中で無視や殺生して今日に至っているのではなかったか」と説いています。

何か誇張した表現に見えますが、晩年の歳になってそのとおりの自分であった、罪業深重の身を救うのが阿弥陀如来のお慈悲であると説いています。

今年は浄土宗が開かれて850年の節目の年でした。開祖法然上人は、長年に渡る修行のなかで「南無阿弥陀仏」と称えることですべての人が等しく救われる教えを見い出されました。

その節目を迎え、お念仏をお称えし御先祖に想いを馳せながら、改めて自分自身と向き合うことで実りある人生を育み、新しい年をお迎えいただいて限りある時間を一層有意義なものにしていいただければと存じます。

裏面に続く



【除夜の鐘撞きの変更点について】

当山では毎年、大晦日の午後11時45分頃から除夜の鐘撞きを実施しております。

鐘の音には、浄化作用があると言われ、旧年にあった出来事や思いを鐘の音と共に自身の心の中から放出し、新しい気持ちで新年を迎えるため、是非お揃いで除夜の鐘を撞きにお越しただけたらと存じます。

また、従来はあまり制限を設けず、自由に鐘を撞いていただいておりますが、最近「鐘の音がうるさい」や「数を数えていたが百八回ではなかった」等の御意見もあり、昨年より以下のように実施させていただいております。御理解と御協力をお願い申し上げます。

- ・ 鐘撞きの時間を午後11時45分～12時30分迄とします。
- ・ 従来は数の制限は設けず、お参りいただいた方全員に撞いていただいておりますが、鐘撞きの回数を108回で終了します。



【浄土宗月訓カレンダーのお届けについて】

西念寺だより等のプリントと共に、これまでからお申し込みいただいております方に「令和7年用浄土宗月訓カレンダー」を同封してお届けいたします。以前は全檀信徒様に配布していましたが、令和3年からお申し込みいただいた方への配布に変更させていただいております。

また、昨今のスマートフォンを中心としたデジタル化により、従来からの壁掛け式カレンダーを使用されない御家庭も増え、浄土宗月訓カレンダーにつきましても今後の送付を御辞退される方も徐々に増えてきており、教化としての役割を終えたような状況を鑑み、今後は以下のように変更させていただきたく御了承の程お願い申し上げます。

- ・ 令和8年以降も送付を御希望いただく方 → 来年の8月頃に申込用紙を配布致しますので、FAXまたはメールにてお申し込みください。
- ・ 郵送対応の申込者多数の場合は、10月からの郵便料金の改定に伴い郵送料の御負担をお願いする場合もあるかと存じますが、御了承の程お願い申し上げます。
- ・ 月訓カレンダーを希望されない方 → 申込用紙を配布しますが、御処分お願いします。



【永代祠堂金御寄進のお知らせ】

安岡澄子氏より故安岡輝彦氏の三回忌法要をお勤めいただいた折、永代祠堂の御寄進をいただきました。安岡輝彦氏は府税事務署に永年奉職されると共に、とても信仰心篤く、先の本堂新築時には多額の御寄進をいただくなど、様々な機会を捉えて寺門興隆にお力添えいただきました。

同じく山田六男氏より故山田スミ子氏の百か日法要をお勤めいただいた折、永代祠堂の御寄進をいただきました。山田スミ子氏は公務員として永年奉職されると共に、書道家としても御活躍されました。また、施主の山田六男氏は、先日のお十夜法要で御講演いただき、普段からの防災意識の大切さをお話しいただきました。

誠に有り難うございました。施餓鬼法要にて永代供養を勤めさせていただきます。

- ・ 永代祠堂料 金30万円 為 仁誉精進純輝禅定門菩提(故 安岡 輝彦氏)
施主 安岡 澄子氏
- ・ 永代祠堂料 金30万円 為 法誉喜隨妙澄禅定尼菩提(故 山田 スミ子氏)
施主 山田 六男氏